

2022年度 日本工学院八王子専門学校

建築設計科

建築・インテリア設計実習 1

対象	2年次	開講期	前期	区分	選択	種別	実習	時間数	60	単位	2	
担当教員	天野 奈緒			実務経験	有	職種	ハウスメーカーにて建築設計に従事					

授業概要

建築およびインテリア設計のコンセプトのまとめ方や表現技法などを実習を通して身につけます。

到達目標

次の4点を到達目標とする。①家具の三面図について理解し、整合性の取れた図面の作成ができる。②室内の実測方法を理解し、実際に測量したデータとともに図面化することができる。③現況の構造等を理解した上で室内空間をデザインすることができる。④様々な状況を想定した上で適切、かつ、コンセプトに沿った素材を選び表現することができる。

授業方法

講義と実習を中心に授業を進め、理解度を深める。コンセプトに合った家具や素材、並びに用途、形態によって必要となる室や動線計画を考え検討し、理解を深める。中間提出や発表会での教員による評価をもとに、理解の到達度を確認する。

成績評価方法

授業時数の4分の3以上出席しない者は単位を認定しない。授業は段階的に進むため毎回出席し、授業内に作業を完了させること。日本工学院 授業心得（学生用）を守ること。

履修上の注意

配布プリント、電卓、三角スケール、製図道具、トレーシングペーパー、色鉛筆、スケッチブックを毎回持参し、板書はスケッチブックに記録すること。メジャー(コンベックス)を持参することが望ましい。

教科書教材

初学者の建築講座 建築製図 第3版 市谷出版社

回数	授業計画
第1回	家具三面図の作成手順を理解できる。
第2回	平面図、展開図、天井伏図等の図面の読み方が理解できる。
第3回	室内各部の実測の仕方が理解できる。

建築設計科

建築・インテリア設計実習1

第4回	実測データをもとに既存図面の作成の仕方が理解できる。
第5回	改修案を考え、コンセプトがまとめられる。
第6回	改修案の図面の作成方法が理解できる。
第7回	担当教員に自身の案の説明ができる。
第8回	図面間での不整合箇所を見つけ、修正することができる。
第9回	所定の用紙サイズを確認し、およそのレイアウト案が作成できる。
第10回	美しく見やすい図面配置、文字の配置ができる。
第11回	各部材ごと、用途に適した色を選ぶことができる。
第12回	平面図、展開図、天井伏図に着色することができる。
第13回	マテリアルシートに色、素材を効果的にまとめることができる。
第14回	必要事項を全て記入し、バランスよくシートレイアウトができる。
第15回	口頭説明とプレゼンシートを有効に使い、プランの魅力を伝えることができる。